

大阪経済記者クラブ 各位

2021年3月22日
一般財団法人関西観光本部

THE EXCITING KANSAI

～関西を8つのルートでブランディングし、インバウンド再興に備えます

関西観光本部(理事長:松本正義関西経済連合会会長、以下「当本部」)では、訪日外国人旅行者が、関西広域に周遊し新しい滞在圏の形成を目指す、広域周遊ルートの構築を地域の皆様と検討を重ねてまいりました。このたび、関西における8つのルートが概成し、“THE EXCITING KANSAI”のブランドで、さまざまな取り組みが始まりましたのでご紹介いたします。

来るべき国際往来再開、2022年のワールド・マスターズ・ゲームズ、2025年の大阪・関西万博に向けて、“THE EXCITING KANSAI”を磨き上げ、世界のデスティネーションとしての「KANSAI」の実現を目指します。

概要

1. 広域周遊観光ルート “THE EXCITING KANSAI”

訪日外国人旅行者は2019年に過去最高の3188万人を記録しましたが、関西では、京都市、大阪市に集中する一方で、「地域への波及が少ない」、「旅行消費額が関東エリアに劣る」、といった課題がありました。この課題を解決し、関西一円に訪日外国人旅行者が巡るよう、当本部では京都市、大阪市をコアとなる拠点としながら、関西一円を周遊し宿泊する新しい滞在圏の形成に取り組んでいます。これまで、自治体、地域づくり法人、企業等とそれぞれの地域の価値や地域の持つコンテンツを洗い出し、8つのコンセプトに基づくルート作りを進め、モデルコースや旅行商品、旅行者の興味や関心を惹きつける動画や文章などによる情報発信をスタートさせました。

自然への回帰や自分を見つめなおす旅など旅行に対するニーズの変化、ワーケーション等の新しい旅のスタイルが提唱されるなど、旅行のトレンドも変化しています。“THE EXCITING KANSAI”はこれらに応えたものであり、選ばれるデスティネーションとしての「KANSAI」のプラットフォームとなります。

(8つのエリアの概要やコンセプトは別添の通りです。)

2. “THE EXCITING KANSAI” の現在の取り組み

(1) 関西国際空港で“THE EXCITING KANSAI”の8エリアのアート作品展示

文化庁による新たなかたちの文化発信プロジェクト「CULTURE GATE to JAPAN」の一環として、関西国際空港において“THE EXCITING KANSAI”を「8つの道」と捉え、8人の人気マンガ家（五十嵐大介さん、漆原友紀さん、雁須磨子さん、里中満智子さん、せきねゆきさん、安彦良和さん、山田芳裕さん、横山裕一さん（五十音順））によるそれぞれのエリアの自然と文化、人々の暮らしを描いたアート作品を展示しています。

● 「CULTURE GATE to JAPAN」 展示概要

- ・日時：2021年3月20日（土）～ 2022年5月末※ ※予定・延長の場合有
- ・場所：関西国際空港 第1ターミナルビル2階キャニオンブリッジ（吹き抜け通路）
- ・内容：テーマは「LIFE」。8人のマンガ家が関西周辺8つのエリアの文化を描きます。
- ・アーティスト：五十嵐大介、漆原友紀、雁須磨子、里中満智子、せきねゆき、安彦良和、山田芳裕、横山裕一
- ・公式ウェブサイト：<https://culture-gate.jp/ja>

(2) 専用商品(Self-Guided Tour) 販売開始

奥ジャパン(株)との連携により、ハイエンド層を対象とし、各エリアを象徴する高品質なセルフガイドツアー※を順次造成しています。現在「播磨」「山陰海岸」「琵琶湖西岸～北陸」の3つのエリアの商品が完成し、販売しています。

WEBサイトはこちら。<https://www.okujapan.com/oku-japan-premium-kansai>

※「セルフガイドツアー」とは…

旅行行程・交通・宿泊を事前に手配し、専用マップ・ガイドブックを手に、旅行者自身のペースで観光・滞在を楽しむ欧米富裕層中心に広がりを見せている新しい旅の形です。



(3) “THE EXCITING KANSAI” 専用サイトの開設

当本部のインバウンド向けポータルサイト「The KANSAI Guide」(<https://kansai-guide.jp/>)内に専用サイトを開設し、2021年2月9日にリリースしました。

WEBサイトはこちら。<https://kansai-guide.jp/exciting/>

● “THE EXCITING KANSAI” 専用サイトのポイント

- ・写真、映像、エディターそれぞれ精鋭の外国人スタッフを編成。徹底的な外国人目線で8つのエリアの魅力を新たに取材・撮影した素材を中心に美しい写真や動画、音声で紹介。
- ・フランス人編集者を中心としたチームによる高質なデジタルパンフレットの掲載
- ・地域の魅力を体験できるツアーや体験コンテンツ予約まで、サイト内で完結



(4) 海外旅行誌への掲載

- ①世界的なハイエンド向けの旅行誌「NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER」及び「NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER FOOD」にそれぞれ10ページにわたる関西エリアの特集を掲載しました。今後も、引き続き掲載していく予定です。
- ②フランス国内で絶大な人気を誇るガイドブック「Petit Futé(プチフテ)」が、今般初めて、「Petit Futé Kansai」を編纂・発行しました。約330ページからなる本格的旅行ガイドブックで“THE EXCITING KANSAI”を特集しています。



(5) ANA 機内で THE EXCITING KANSAI の動画を上映中

“THE EXCITING KANSAI” と ANA の地域活性化のためのプロジェクト「Tastes of JAPAN ～関西～」との相乗効果を高めるべく、当本部と ANA が連携を図ります。ANA の地域活性化プロジェクト期間中の特別企画として当本部の企画制作による関西広域周遊の魅力を凝縮したオリジナル旅番組、「関西再発見の旅！「THE EXCITING KANSAI」」を、ANA 運航便の国内線、及び国際線にて上映中です。

詳しくは ANA 関西支社のプレスリリースをご参照ください。

<https://www.ana.co.jp/group/pr/area/pdf/20210301-01.pdf>



●関西再発見の旅！「THE EXCITING KANSAI」上映スケジュール

2021年3月1日～5月31日

※ ANA 国内線 前方スクリーン：3月1日～3月31日（奇数便にて上映）

※ ANA 国内線 Wi-Fi エンターテインメント：4月1日～5月31日

※ ANA 国際線 個人シートモニターコンテンツ：3月1日～4月30日

(本発表資料のお問い合わせ先)

関西観光本部

広域観光推進部 伊東

電話：06-6223-7203

別添

「THE EXCITING KANSAI」の8つのエリア



(1) 紀伊半島エリア (和歌山県・奈良県・三重県)

「心の原点への巡礼の旅」のエリア

巡礼の道、熊野古道は千年以上の時を経て日本の精神の原点を現代に残す。自分に向き合い高めるスピリチュアルな道。

【主要観光素材】熊野三山、高野山、熊野古道、吉野、十津川等



(2) 播磨エリア (兵庫県)

「名城と侍文化、海の道」のエリア

都と西国を結ぶ要衝にあって、世界遺産姫路城を中心に今でも残る戦国・侍文化。現代に至るまで多様な文化を容れながら発展している。

【主要観光素材】姫路城および播磨エリアの城郭、圓教寺、赤穂、有馬温泉、神戸灘の酒蔵等



(3) 琵琶湖西岸～北陸エリア (滋賀県・福井県)

「水がはぐくむ文化と信仰」のエリア

日本最大の湖琵琶湖。後背地の山々の豊かな雪解け水は田畑を潤し、水郷を形成しながら暮らしや信仰に息づいている。

【主要観光素材】琵琶湖、比叡山延暦寺、永平寺等



(4) 福井～琵琶湖東岸エリア (滋賀県・福井県・三重県)

「戦国文化とクラフト」のエリア

多くの武士が往来し武家文化・忍者文化が栄えたこのエリアは1000年以上続く伝統工芸から現代的なものまで「クラフト」のエリアでもあり、多くの匠を育ててきた。

【主要観光素材】越前漆器、越前打刃物、信楽焼、彦根城等



(5) 神戸～淡路島～徳島エリア (兵庫県・徳島県・和歌山県)

「パノラミックな国生みの海」のエリア

内海ゆえの島影や渦巻く潮流など穏やかで広大で変化に富んだ海。ゆっくり滞在すると海に日が昇り、沈み、そこに生まれた国生みの神話や生活者の文化も見えてくる。

【主要観光素材】明石海峡大橋、鳴門の渦潮、人形浄瑠璃、藍染め等



(6) 山陰海岸エリア (京都府・兵庫県・鳥取県)

「海岸美と恵み」のエリア

奇岩や断崖の岬と漁村が交互に続く独特の地形は、息をのむ景色と豊かな漁場、穏やかな人々の営みを形成している。

【主要観光素材】天橋立、伊根の舟屋、城崎温泉、浦富海岸、鳥取砂丘等



(7) 奈良～伊勢エリア (奈良県・三重県)

「神話から古代へ、日本の原点」のエリア

神話時代までさかのぼる日本の原点。政治・文化のオリジンはここにあり、いくつもの時代の足跡が多重に折り重なる。

【主要観光素材】伊勢神宮、海女文化、斑鳩、飛鳥、吉野等



(8) 丹波エリア (京都府・兵庫県)

「実りの里山」のエリア

京都と兵庫にまたがる「丹波国」は独自の作物が実る、豊穣の里山。そこに街道の要衝となる城下町や、都の食材を支えた町など個性が光る暮らしがある。

【主要観光素材】丹波篠山の城下町、丹波焼、美山、丹波ワイン、丹波の食材等

